

竹川病院

山泉 直美 (地域連携医療相談室 / 地域連携)

功 績 「live image」における事前手配と理事長への橋渡しを行う等緻密な接遇を完遂し、イベント直後の新規紹介3件獲得という即座の成果を上げた功績。

推薦者氏名 マネージングディレクター 竹川 堯

推薦理由 「live image」にて、急性期4病院の招待から理事長への橋渡し、終演後の見送りまでを完璧に遂行。その献身的な接遇が、計3件の新規紹介という即座の成果に繋がり、当院の信頼を大きく高めた為

内 容

2月8日・9日に開催の「live image」において、山泉は当院のホストとしての役割を完璧に遂行し、実益に直結する大きな成果を収めた最大の功労者です。

本部より「月曜枠でお世話になっている急性期病院のMSWをお招きしてよい」との連絡を受け、山泉は即座に3病院それぞれ4名とA病院2名（副院長・MSW）を招待するべく調整を行いました。

当日、開演前に全ての急性期病院の方々をディレクターに引き合わせて挨拶の機会を創出しました。特筆すべきは、15分休憩時のラウンジでの立ち回りです。ディレクターがVIP対応中である状況を察し、副社長を通じて理事長へ繋ぐという機転を利かせたことで、理事長による直接のご挨拶を実現。この「理事長自らの接遇」が、来場者に格別の敬意を伝える決定打となりました。

その結果、翌10日（火）にはB病院より2件、C医療センターより1件の新規紹介を即座にいただくという即座の成果に繋がっています。

来場者からは「普段味わえない素晴らしい席での体験で、明日への活力が湧いた」「スタッフの連携が見事だった」との声と共に、劇中で当院の保留音が流れた際の驚きと感動が共有されました。山泉は終演後もディレクターらと共に最後の一人までお見送りを徹底し、全ての病院から届いた感謝の言葉に対しても、即座に謝意を伝えるなど完璧なアフターフォローを継続しています。

現場での緻密な仕切りと、経営層を巻き込んだ高度な渉外能力を高く評価し、理事長賞に推薦いたします。